

## 新聞コーパスを活用した日本語 DDL 教材と指導実例

田辺和子\*, 中條清美\*\*, 伊藤誓子\*\*\*, 西垣知佳子\*\*\*\*

## Newspaper-Based DDL for Japanese Language Learners: A Case Study

*Kazuko TANABE\**, *Kiyomi CHUJO\*\**, *Seiko ITO\*\*\**  
and *Chikako NISHIGAKI\*\*\*\**Keywords: Data-driven Learning, Corpus-based, Japanese Language Education, Newspaper Corpus,  
Case Study

## 1. はじめに

本論文は、平成 21-24 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) 「パラレルコーパスによる多言語教育 DDL に向けて」(課題番号 21320107) の日本語教育研究班による教材作成のための基礎研究およびその教材の指導実践報告である。日本語教育班では、DDL 検索の言語データとして新聞コーパスを使用して、二字漢語から成る動名詞のコロケーション(連語)を中心に日本語教育用教材の教材化を進めてきた。

本論文では、はじめに教材化を行う上で、基礎研究として、新聞コーパスから考察できる二字漢語使用の特徴について検証する。続いて、基礎研究の成果に基づいて作成した教材の指導例を示した後、実践指導後に学習者に行ったアンケート調査の結果を報告する。

## 2. 二字漢語使用の特徴に関する基礎研究

二字漢語指導用教材の作成にあたっては、指導対象と

なる学習語の特徴について検討する必要があると考え、新聞コーパスにおける学習語の使用状況を観察、検証した。

## 2.1 分析の方法

## 2.1.1 学習語

指導対象となる二字漢語は、中條・木下・田辺・内山・西垣(2010)<sup>1)</sup>で選定された「日本語新聞キーワード」664語から、サ変動詞として使用されていない語を除外した263語である<sup>2)</sup>。

## 2.1.2 使用したコーパス

学習語の検索ソースとなる「新聞コーパス」には、日英新聞記事対応付けデータ(内山・井佐原, 2003)<sup>3)</sup>の日本語部分を用いた。新聞記事データを教材作作用のソースとした理由は、特定の「分野」の言語資料を扱うことで、「スタイル」に統一性のあるデータを大規模に得られる点にある。また、新聞記事であることから、日本語データとしての信頼性も高く、「新聞コーパス」を用いることで、新聞日本語の特徴を把握することが可能である。したがって、「新聞コーパス」は新聞読解指導に有効であろうと考えられた。検索ツールとして ParaConc (Barlow,

\* 日本女子大学文学部日本文学科教授

\*\* 日本大学生産工学部教養・基礎科学系准教授

\*\*\* 日本女子大学人間社会学部現代社会学科非常勤講師

\*\*\*\* 千葉大学教育学部教授

2004)<sup>4)</sup>および Collocate (Barlow, 2005)<sup>5)</sup>を用い、統計分析結果に基づいて使用頻度の高いコロケーションを抽出し、教材開発に反映させた。

## 2.2 二字漢語使用の特徴分析の結果

### 2.2.1 「改革」

Table 1 は、学習語の1つである「改革」の新聞コーパスにおける使用例(頻度数4,829)を示したものである。「改革」の前後に現れる語の種類と頻度を表示した。表上段の2L(L:left)は「改革」の2語前に現れる語、1Lは直前に現れる語を頻度順に示したものである。同様に、1R(R:right)は、「改革」の直後に続く語、2Rは2語目に続く語である。Table 1 から頻度最高位を拾うと、「構造」(改革)「の」「の」という組み合わせとなる。

Table 1 に矢印(⇒)で示した例1では、2L「の」(頻度464)に着目した。日本語として文法及び意味的に成立可能な表現を1L, 1R, 2Rの欄からそれぞれ選び出して組み合わせると、「～の{構造/政治/行政/制度}改革を{必要(とする)/推進(すべき)/実現(するよう)/進める}」といった組み合わせで使われていることが推察できる。「改革」は、他の新聞用語と比べて名詞合成語句(例 行政改革, 教育改革)として使用される頻度が高いことが他の検証データ(Collocateにより検索語を含む連続する3語を抽出したデータ)によっても証明されている(田辺・中條・船戸, 2012)<sup>6)</sup>。今回の調査結果からもそのことが確認できた。

Table 1 に示した2L欄の例2では、「し」(頻度29)と

そこから伸びる矢印の先の1L「た」(頻度40)が結びついて、「～した改革」という表現が多く使われていることを意味している。「改革」がサ変動詞「改革する」として使用されることは少ないが、「改革」の前に「～する」をつけて「～する(名詞)改革」「～した改革」として使われることは、2L欄「する」(頻度40)の存在からも推測可能である。例3は、1R「に」(頻度374)と、それに結びつく2R欄に着目したものである。ここでは、「改革に{取り組む/伴う}」といった「改革」の用例の特徴を表した表現が得られる。

### 2.2.2 「支援」

Table 2 は、新聞コーパスにおける、「支援」(頻度数2,501)の前後に現れる語の種類と頻度を示したものである。

Table 2 の中で、矢印(⇒)で示した最上段の例1の最大頻度項目に着目すると「～の支援を」という表現の多用が認められる。この表現に続く2Rの表現を見ると、「～の支援を{行う/受け/求め/可能/表明/得/実施/約束/要請/検討(する)}」というコロケーションの情報が得られる。

例2(1R二段目)に「する」(頻度271)が入っていることから、「支援する」というサ変動詞としての使用も、前項の「改革」と比較して頻度が高いことが考察できる。この場合は、「日本から支援する{必要/こと}」という連体修飾形も考えられる。

例3の「による」(2L頻度17)等の複合助詞に着目す

Table 1 Frequency Statistics for the Keyword “kaikaku”

Frequency Statistics							
頻度	2L	頻度	1L	頻度	1R	頻度	2R
631	の	626	構造	775	の	311	の
464	の	520	政治	644	を	261	、
375	。	513	の	374	に	216	を
174	「	375	行政	268	は	209	は
148	た	247	、	259	が	93	必要
127	は	214	制度	156	案	92	が
114	財政	161	経済	140	」	91	に
93	的	161	税制	133	、	73	法案
92	な	153	。	118	推進	72	」
85	経済	143	抜本	107	で	66	で
76	が	114	な	91	関連	66	推進
72	選挙	89	「	84	など	63	実現
65	に	89	教育	84	も	63	本部
61	制度	77	党	82	と	60	開放
58	金融	56	行財政	77	・	59	会
57	と	50	に	69	について	53	進める
51	で	49	は	66	へ	51	も
41	など	41	法人	65	や	42	断行
40	する	40	た	61	会議	41	進め
39	特殊	40	財政	53	路線	37	「
38	いる	40	省庁	47	法	32	一環
37	や	36	を	46	)	31	と
35	中央	36	規制	43	派	30	取り組む
32	を	36	国連	42	論議	29	法
29	し	34	的	38	法案	28	。
29	だ	33	システム	36	大綱	26	会議
28	ある	32	で	32	委員	26	具体
28	て	31	が	31	する	25	重要
27	も	30	機構	28	し	24	ため
26	・	27	小泉	26	プログラ	24	伴う
26	構造	26	意識	25	だ	23	基本
22	法人	22	自己	25	国民	23	実施

Table 2 Frequency Statistics for the Keyword “shien”

Frequency Statistics			
2L	1L	1R	2R
244 の	457 の	435 を	195 を
179、	263 を	271 する	140 の
107 へ	100 な	241 の	109、
90 的	90 後方	156 策	104 は
60。	81、	128 に	99 ため
42 で	70 経済	100 が	55 が
37 を	64 に	95 し	54 て
35 な	63 食糧	70 は	46 に
35 など	55 金融	65 で	42 こと
34 は	49 的	52、	42 行う
31 「	41。	45 など	37 で
28 た	34 ロシア	42 体制	35 」
27 に	33 技術	40 活動	32 も
23 対	30 に対する	38 も	27 「
23 日本	28 人道	38 国	27 必要
22 から	26 た	37 や	26。
22 が	26 財政	28 」	24 として
22 者	24 が	26 と	23 受け
21 国	24 で	25 について	22 と
20 し	23 テロ	24 者	22 など
20 と	22 対口	24 問題	21 求め
19 )	20 も	16 計画	20 可能
18 ・	20 コメ	15 として	18 表明
18 や	18 緊急	15 団体	16 会合
18 ドル	18 国	15 要請	16 得
17 ため	18 側面	13 措置	15 実施
17 による	18 復興	12 強化	14 について
17 改革	16 から	11 —	14 約束
15 米	16 と	10 しよ	14 要請
14 途上	16 軍	10 国家	13 し
14 努力	16 対ソ	10 事業	12 ある
14 被害	15 国際	10 組織	12 検討

ると、「～による {経済/食糧/技術/復興} 支援」という「支援」の名詞合成語句の使用が成り立つ。2R 欄「ため」(頻度 99) から「支援するため」、1R 欄「について」(頻度 25) 「として」(頻度 15) から、「～支援として」「～支援について」の名詞形に続く表現も推測できる。

練習問題作成の際には、以上のような分析結果を活用するようにした。本研究で作成した語彙教材(全 20 課)の例として、Appendix 1 に「第 7 課 改革」と Appendix 2 に「第 9 課 支援」を付けた。

### 3. 指導事例の報告

本節では、作成した語彙教材を使って実際に指導した事例について報告する。

#### 3.1 指導方法

- 1) 学習者：日本女子大学の「日本語読解」の授業に参加している留学生であり、国籍は、韓国(2名)、中国(2名)、モンゴル(1名)であった。
- 2) 授業：指導目標は論理的な文章の読解能力を高めることであった。授業ではテキストに即して読み取り演習を行った。

毎時間、授業時間の 20 分程度を使って、本研究で作成した語彙教材を用いて語彙指導を行った。大学生活や日常生活において、新聞記事などの社会的情報に接することは必須である。新聞コーパスを使った当該語

彙教材は学習者にとって有用なものであり、新聞に使用される語彙の種類や使い方を学び、理解を深めることは学習者にとって意義あることである。実際の新聞記事を題材とした本教材の学習を通じて、情報を正確かつ迅速に読み取る語彙学習が読解能力の向上に有効であることを学習者に説明した。

- 3) 指導の流れ：当該教材を使用した指導の流れは次のとおりである。① 導入として<会話>を読み、見出しの語に意識を向けさせる。② <基礎問題>を解いて、その後、答え合わせをする。③ <発展問題>を解いて、その後、説明を加えながら答え合わせを行う。④ 応用の<読解問題>を宿題とする。宿題については、添削後、各自復習するように指示した。宿題の解答について特に説明が必要と判断した場合は、授業中に取り上げて解説を行った。

以下では、第 7 課「改革」(Appendix 1)と第 9 課「支援」(Appendix 2)を例として、授業の実践について報告する。

#### 3.2 指導の実際：「改革」の場合

##### 3.2.1 導入<会話>

見出し語の「改革」は、<会話>中、「行政改革」という語の中に現れている。それに関連して「福祉」、そこから「年金生活」へと話題が及んでいる。ここで、学習者から日本の年金制度について質問が提起された。結果、年金のしくみや政府からの保障について話が広がり、「改

革」を現実生活に結びつけて意識させることが可能となった。

<基礎問題>の<問題1・2>は、コーパスの検索結果を見て、「改革」と関連して使用される表現を書き入れる問題である。「改革が\_\_\_\_\_」「\_\_\_\_\_改革」(問題1)、「開かれた\_\_\_\_\_に改革する」(問題2)のように、検索結果を参照しながら、空白を埋める空所補充問題である。作業を進める際、品詞の違いや文型による使われ方の違いに注意を向けるよう指導した。

### 3.2.2 基礎問題<問題3>

問題3の2番の問題では、「～農業改革に努力している～」という正答に対して、「～農業改革に\*推進している」という誤った表現を答えた学習者がいた。「努力する」「推進する」は両語とも「改革」という語と共に使用することができる(例 改革に努力する、改革を推進する)。この問題の解答を導くためには、「Nに努力する」という表現を知っていることが必要である。「努力」は頻繁に耳にする語であるが、学習者にとって、「改革」という言葉と共に使用される文例に接する機会は多くない。新聞コーパスだからこそ学べる表現であると考えられる。

問題3の3番の問題では、「経済改革の実施の過程」という正答に対して、「経済改革の\*計画の過程」を誤って選んだ学習者がいた。「改革の実施」「改革の計画」はどちらも表現として存在する。ここでは「過程」とともに使われるのが、「実施」なのか「計画」なのかという表現に関する知識の幅が必要となる。短文問題は情報量が少ないがゆえに文章に接する経験と想像力が必要であることがわかる。

### 3.2.3 発展問題<問題4・5>

選択肢を確認することによって、新聞記事で使用される語彙のタイプに目を向けるように指導した。

### 3.2.4 発展問題<問題6>

「改革」という言葉を含む「相撲協会」に関する記事の読解問題である。比較的短い記事であるが、学習者は予想以上に解答が困難な様子であった。そこで、問題6を宿題とした後、クラスで復習時間を取った。学習者とのやりとりを通して明らかになったことは、読解問題においては、記事の背景知識、例えば「相撲」が特にしきたりを重んじる国技であること、「八百長」とはどのようなことを指すか、「相撲」においてそれが行われたことが社会的にどういう意味を持つのかといったことについての知識が、言語的スキルに加えて必要だということである。日本人読者と同等の背景知識を持った上で、「相撲」の「組織改革」が議論されていることを読み取らなければならない。また、タイトルの「過去はどこかで区切らない」とについては、「過去からの悪い慣習をどこかで断ち切るために『改革』が行われる」という含意があることをクラスで確認した後、ようやく記事の内容を学習者が正確に

把握できたと判断された。

## 3.3 指導の実際：「支援」の場合

### 3.3.1 導入<会話>

<会話>には、「発展途上国への支援」と「文化的支援」という言葉が含まれている。それを読んで、物資や経済面で支援のイメージの他に、人々の意識や環境も「支援」の対象につながることを確認し、「支援」の概念の広がりや学習者に意識させた。

### 3.3.2 基礎問題<問題1・2・3>

コーパスの検索結果を参照して、空白を埋める空所補充問題である。解答の際、「支援する」と結びつきやすい名詞や、「支援」を客体語とする動詞、また、支援を修飾する助詞に注目するように指導し、「支援」が使用されるパターンを確認した。

### 3.3.3 基礎問題<問題4>

「支援」に類似した語との違いに気付かせる問題である。選択肢があるので正解を導くことは容易であったようである。

### 3.3.4 発展問題<問題5>

「就労支援」をキーワードとする読解問題である。(1)の問題の正答は「支援すれば」(仕事をみつけられそうな～)であるが、学習者のうち1名が「\*支援しなくても」(仕事をみつけられそうな～)を選び不正解であった。「支援すれば」(仕事をみつけられそうな～)と、「\*支援しなくても」(仕事をみつけられそうな～)とは、大きな意味の違いがある。

この問題を間違った学生も、(4)の問題(内容を把握しなければ答えられない質問)については正答を導いていたので、全体の文意は理解していたことが推測できる。おそらく、「(支援すれ)ば～」と「(支援しなく)ても～」の意味を取り違えたけれども、記事にはグラフが添えられているなど、理解を促す要素が多いため、全体を読み終えたところで理解できたと考えられる。学習者からは、先に挙げた3.2「改革」の読解問題より理解しやすい記事であるという感想が授業後に得られた。

## 4. アンケート調査

語彙教材の18課の指導終了後、当該教材について受講者にアンケート調査を実施した。調査は無記名であった。

### 4.1 アンケート用紙の質問項目

アンケートの調査項目を下記に示した。すべて自由筆記であった。

☆ 語彙練習についてのアンケートです。自由に書いてください。

- ① <会話>について
- ② <基礎問題>について
- ③ <発展問題>について

- ④ <教材の感想> もし機会があれば、このような練習を続けたいと思いますか。その理由も書いてください。(将来もしくは現在の日本語使用や仕事、生活等を考えて) はい/いいえ

理由 \_\_\_\_\_

#### 4.2 アンケート結果

アンケートを通して得られた学習者の意見を、<会話><基礎問題><応用問題><教材の感想>に分けて以下に示す。アンケートの④については、全員が「はい」と答えた。

##### ① <会話>について

- ・わかりやすい。
- ・よく日常会話、或いはビジネス場面で使う会話だと思う。
- ・現在話題になっている内容なので役に立った。
- ・本課のテーマについて分かりやすく読むことができる。
- ・問題にとりかかる前にテーマについて理解することができる部分だった。

##### ② <基礎問題>について

- ・練習しやすい。
- ・熟語の使い方がすぐわかる。
- ・語彙について、いつ使うのかを知るのに役に立った。
- ・繰り返すうちに覚えられるのでとてもよい練習だと思う。
- ・平時あまり見ない単語が出てくる。自分自身の力不足な部分が今は多いから。
- ・選択問題だけではなく、応用できる問題もあったほうがいい。
- ・日常に使えることばも、もう少し増えたらいいと思った。
- ・内容はいいが、例文にある単語をそのまま下線に入れる形なので、自分で予想して入れたり、考えやそのテーマ内の単語と合う言葉などを書く問題があったりしてもいいと思う。他の例が挙がっていてそこから選んで書くのもいい。
- ・数が少ないのではないか。内容も増やしたらどうか。

##### ③ <応用問題>について

- ・新聞をあまり読まないので本文が勉強になった。
- ・基礎問題だけだと不十分だから応用問題により自分も使えるようになる。
- ・ひたすら問題を解くのではなく、現代社会や世界での問題が挙げられていることから、勉強と知識が増えた。
- ・文章を書く力が必要だと思う。いろいろな文型が勉強できる。
- ・課が進むと応用問題が増えていてうれしい。
- ・本文についての基礎的な知識がないと理解ができな

い部分があった。

- ・選択問題より、書く練習ができる問題を増やしてほしい。
- ・内容が難しい場合が多い。

##### ④ <教材の感想>

- ・言葉は繰り返すうちにうまくなると思うのでこのような練習はちょうどいいと思った。
- ・日本語の勉強に役立つ。
- ・ただの語彙の練習というのではなく、自分の意見も共に述べられる時間になり、勉強になると思った。
- ・応用問題は文章の理解度を高めるのに役に立つ。

#### 4.3 アンケート結果の考察

アンケート結果から次のようなことが明らかになった。

各課の初めにある<会話>は、目標語彙が自然に使用される場面が設定されている。そのため、その語彙に現実味が生まれ、学習者を練習活動へ導く効果があったと考える。

<基礎問題>の空所補充問題について、学習者はコーパスの検索結果を参考にして、正しい言葉を無理なく選んでいた。中には、自らの語彙力を試すために自由作文を試みたいという学習者もいた。今回開発した教材を指導した学習者が上級レベルの日本語力を持つ学習者であったためと考えられる。今後は、基礎問題の内容について、難易度を段階的に設定することで、日本語能力のレベルの高い学習者にも低い学習者にも使用できるようにしたい。

<発展問題>について、学習者は目標語彙の文法力を試す応用問題や読解問題に意欲的に取り組んだことが感想からうかがえた。特に読解問題は、目標語彙がキーワードとなって、記事の内容理解を助けたようである。また、新聞記事を使用したことで、政治、経済等、社会的な題材に問題意識を向かわせることが可能となったが、時には、社会背景や日本の伝統や物事に関する知識不足が要因で、上級レベルの学習者であっても記事の内容が難しいと感じる場合があったようである。

学習者は、最初に、本教材の<基礎問題>を通して目標語彙の正しい使い方と意味を学んだ。次に、<応用問題>に取り組んだことにより、無理なく語彙練習を進めることができ、課を重ねるごとに問題を解く速度も増した。また、新聞コーパスより抽出した実例を通して目標語彙を確認し、続いて実際の新聞記事を読み取ることで、目標語彙の習得だけではなく、関連語句や記事の内容自体に興味を持つことが可能になった。本教材を使用することで、語彙知識を習得しながら、さらにそれらの背景知識等にも関連した広がりのある授業を展開することが可能となったと考える。

## 5. まとめ

本稿の前半では、新聞コーパスからコロケーションを抽出し、その調査結果にもとづいて日本語 DDL 教材を作成した過程について報告した。続いて、論文後半では、指導の実例を示し、教室指導を行った結果得られた学習者の反応を報告した。

学習者の感想から、本教材が日本語学習に役立つという評価を得られたと考える。今後の課題として、教材難易度の段階付けや、質問提示の順序等に注意を払い、教材全体の統一性や均衡性を考慮して改良を加えたいと考えている。また、新聞という素材に対して学習者が期待する社会性や時事性に一層の配慮をすることで、日本語学習への動機付けをさらに高めるように工夫することも今後の課題である。

謝辞：本研究の一部は平成 21-24 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (課題番号 21320107) を受けて行われました。

た。

## 参考文献

- 1) 中條清美, 木下謙朗, 田辺和子, 内山将夫, 西垣知佳子, 「日本語新聞キーワードの選定」, 『日本大学生産工学部研究報告 B (文系)』, 43, 2010, 53-67.
- 2) 田辺和子, 中條清美, 船戸はるな, 「新聞コーパスにおける動名詞の動詞的・名詞的ふるまいについて」, 『日本女子大学文学部紀要』, 61, 2012, 19-32.
- 3) 内山将夫, 井佐原均, 「日英新聞の記事および文を対応付けるための高信頼性尺度」, 『自然言語処理』, 10 (4), 2003, 201-220.
- 4) Barlow, M., ParaConc (A Concordancer for Parallel Texts), 2004.
- 5) Barlow, M., Collocate 1.0: Locating Collocations and Terminology, 2005.
- 6) 田辺和子, 中條清美, 船戸はるな (2012), 前掲論文. (H 24. 2 .10 受理)

男性会社員：（新聞を見ながら）行政改革っていうけれど、  
結局、福祉が削られるだけなんじゃないかな。  
女性会社員：そうなのよ。私の両親、年金生活でしょ。  
医療費負担額が増えたって嘆いていたわ。



問題1 「改革」の検索結果を見て、下の問いに答えなさい。

勇気づけられる最初の兆候が、改革が最も進んでいる中・東欧諸国における国々  
して取り上げられよう。彼らの改革が成功し彼らが世界経済に完全に組み入れら  
支援によってソ連の政治、経済改革が成功すれば、国際秩序の安定につながる。  
れるものが日本人にある。行政改革が必要だ。他の店では青や半透明の袋し  
ららのグループの課題は、構造改革を奨励し、技術的支援を調整することであ  
わが国経済も、同様に劇的な改革を進めつつある。〈2〉天皇は、法律の定  
里観を確立するとともに、教育改革を推進する。新しい建造物が姿を現し、新  
アクセス改善は、ロシアの構造改革を大いに強化する。2 日本国政府及びロシ  
うした摩擦、抵抗を乗り越えて改革を断行しなくてはならないのが次の政権の  
市場統合と、国内の経済構造改革を表裏一体の政策として推進する視点も不可欠  
食化といった分野における一連の改革を約束した。実にナイーブで単純な文化です  
明白な支持を表明することで改革を励まし、後退しないように努めなければな

Fig. 1 Concordance Line “kaikaku”

- 次の\_\_\_\_\_部に上の「改革」の検索結果から語を拾いなさい。
  - 改革が\_\_\_\_\_
  - 改革が\_\_\_\_\_
  - 改革を\_\_\_\_\_
  - 改革を\_\_\_\_\_
- 「改革」には、どんなものがありますか。
 

(例) 税制改革

  - \_\_\_\_\_改革
  - \_\_\_\_\_改革
  - \_\_\_\_\_改革
  - \_\_\_\_\_改革

問題2 「改革する」の検索結果を見て次の問いに答えなさい。

なスタンダードにあった、開かれた制度に改革する基本となる重要な法案だ。  
経済の活力を低下させないような税制に改革する必要がある。しかし、石油  
真雑で不十分」との批判が根強く、早急に改革する必要があると判断した。同  
職の対象になっている。しかし、現状を改革する必要があることは確かであ  
いる現状を改めるため、税制を抜本的に改革する必要性を強調している。通  
年度の年金制度改正で現行制度を抜本的に改革する方針を固めた。「東南アジア  
る電波の周波数の割り当て方法を抜本的に改革する方針を明らかにした。変造  
長を任命するよう、人事制度を抜本的に改革する方針を改めて示した。この  
必要がある。このため、預金保険制度を改革する法整備を次期通常国会で行

Fig. 2 Concordance Line “kaikaku suru”

- \_\_\_\_\_部に名詞を入れなさい。
  - 開かれた\_\_\_\_\_に改革する。
  - 経済の活力を低下させないような\_\_\_\_\_に改革する。
- \_\_\_\_\_部に副詞を入れなさい。
  - \_\_\_\_\_に改革する必要がある。
  - \_\_\_\_\_に改革する方針を固めた。

問題3 a～cの中から適当な言葉を選びなさい。

- 先の国会で提案された行政改革の（a 進ませ/b 進み/c 進まれ）具合を確認する。
- 現政府は、公約したはずの農業改革に（a 進展/b 推進/c 努力）していると見えるだろうか。

3. イタリアの経済改革の (a 結果/b 実施/c 計画) の過程を参考にすることは有効である。
4. 構造改革を (a 奨励/b 激励/c 拡張) することが求められる。
5. 流通機構の改善は、当国の産業改革を (a 増大/b 繁栄/c 強化) するはずだ。

問題4 下の文の ( ) の中に当てはまらない言葉を選びなさい。

これは、IMFがロシアと ( ) な改革プログラムについて引き続き交渉する一方で、最も緊急な安定化措置を支援する政策を今後数週間のうちに実行することを可能とする。

- a 抜本的      b 包括的      c 圧倒的      d 積極的      e 具体的

問題5 下の文の ( ) の中に当てはまらない言葉を選びなさい。

白書は、地域の市場統合と、国内の経済構造改革を表裏一体の政策として推進する視点も ( ) としている。

- a 重要      b 必要      c 不可欠      d 不可避      e 大切

問題6 下の質問に答えなさい。

八百長処分、「過去はどこかで区切らないと」  
 相撲協会が公益法人制度対策委員会は8日、八百長問題の解決までの議論凍結を決めた一方、組織改革の一部では一定の方向性を打ち出した。  
 重要な改革課題とされる相撲部屋のあり方について、中馬弘毅委員(元行政改革相)が「協会は各部屋の師匠に指導を委託するという形にし、部屋を個人財産として認める」と説明した。これについて放駒理事長は、「あくまでも途中経過」と述べた。  
 また、八百長問題を受けて新たな倫理規定の設置を求める声が上がった。中馬委員は「全力士に誓約書を書かせ、それでも(八百長相撲を取る力士が)出てきたらクビというか……」などと説明、違反者を処分対象とすることを想定しているとした。同委員は「過去のことはどこかで区切らなければいけない。そうしないと日本の伝統の相撲道がなくなる」とも語った。  
 (2011年2月8日読売新聞)

1. 下線のことばの意味に近いことばを選びなさい。

a 打ち出した

強く否定した      積極的に示した      消極的に提案した

b あくまでも

徹底的に      仮定して      期限付きで

c 区切らなければいけない

分析しなければいけない      経過をみなければいけない      やめなければいけない

2. 提示されている案を箇条書きにしてわかりやすく書き出さなさい。



Appendix 2 Lesson 9 “shien”

第9課

支援

主婦A： 開発途上国への支援って、なにができるのかしら。  
 主婦B： そうねえ、わたしたちでできることっていったら、  
 せいぜい子どもたちの学校でバザーをしたり、  
 募金を集めたりすることだけど。  
 主婦C： 子どもたちの関心を高めることも長期的には  
 大切な支援活動になると思うわ。  
 主婦A, B： そうね。文化的支援のひとつってことかしら。



問題1 「支援する」の検索結果の中から下の \_\_\_\_\_ 部に適当な語を入れなさい。

方法及び技術を分かち合うことによりこの過程を支援することを、民間セクター  
 国による、より長期的なエネルギー戦略の策定を支援することを促す。クリントン  
 自由だ。また、アジア各国の金融市場の改革を支援するために、欧州諸国が  
 日に景気回復の基盤を強化し、構造改革を支援するものだとしている。  
 ツ連はこの状況を認め、自らの経済成長計画を支援する技術、資金、知識が  
 継続交渉する一方で、最も緊急な安定化措置を支援する第一クレジット・トラ

Fig. 3 Concordance Line “shien suru”

- (1) \_\_\_\_\_ を支援する。
- (2) \_\_\_\_\_ を支援する。
- (3) エネルギー戦略の \_\_\_\_\_ を支援する。
- (4) \_\_\_\_\_ の \_\_\_\_\_ を支援する。
- (5) \_\_\_\_\_ の \_\_\_\_\_ を支援する。

問題2 「支援を」の検索結果の中から、次の下線部に適当な語を入れなさい。

する。我々は皆、二国間支援を強化する用意がある。世界経済の回復の兆し  
 こうした途上国の女性への支援を強調するとみられるが、保健や教育などを  
 その目的のために効果的な支援を行う。4 ウィーンでの世界人権会議におい  
 プの原則とに基づく我々の支援を再確認する。我々は、それらを解決し、我  
 支援を含むテロリズムに対する支援を絶つとともに、テロリスト組織による自国の領土  
 構造改革を奨励し、技術的支援を調整することである。エリツィン大統領の指導  
 目に対して継続的な支持及び支援を提供する。二分野の交渉と並行して、「農  
 いて、国際社会の例外的な支援を得てメキシコ当局によって実行されている強  
 ある。政府は東欧への経済支援を約束しており、今後欧州の政治、経済、安  
 改革過程に対し目に見える支援を与えた。ロシアは、その保有する膨大な化学

Fig. 4 Concordance Line “shien wo”

- (1) 二国間支援を \_\_\_\_\_
- (2) 途上国の女性への支援を \_\_\_\_\_
- (3) 目的のために効果的な支援を \_\_\_\_\_
- (4) テロリズムに対する支援を \_\_\_\_\_
- (5) 東欧への経済支援を \_\_\_\_\_

問題3 「支援」の検索結果の中から、次の下線部に適当な語を入れなさい

我々は、該当する国に対する支援を、多国間の行動計画の枠組みの中で提供  
 新国家に、自助努力に対する支援を提供する。しかし、他の条項と重複すると  
 への移行期にある諸国への支援に特に注目しつつ、中東、中南米、アフリカ  
 、ロシア国民の自助努力への支援の枠組みを設定した。ココム解散から既に二

Fig. 5 Concordance Line “shien”

- (1) 該当する国 \_\_\_\_\_ 支援を提供する。  
 (2) \_\_\_\_\_ への支援の枠組みを設定した。

問題4 次の文の ( ) に \_\_\_\_\_ の中から適切な言葉を入れなさい。

- (1) サッカーの試合で私は自分の出身高校のチームを ( ) した。  
 (2) 今回の選挙で田中候補は多くの有権者の ( ) を得ることができた。  
 (3) ( ) 金の分配方法について、話し合いが必要だ。  
 (4) 改革過程に対しては、効果的な ( ) が提供されるべきだろう。

支援	応援	支持	義援
----	----	----	----

問題5 次の記事を読んで問いに答えなさい。

支援専門員増員へ 生活保護費、抑制を…神奈川・政令3市

2008年秋のリーマンショックにより失業者が増加し、09年度の神奈川県内自治体の生活保護費の総支給額が過去最大の約2175億円、受給者12万3363人に上ったことを受け、横浜市などは新年度、受給者の就労支援を行う専門員・相談員を増員する。支給額抑制につなげたい考えだ。(略)

同区の場合、(A ) 仕事を見つけられそうな受給者と、ケースワーカー、専門員の3人で話し合い、希望職種や給与水準、勤務体系などの就労目標を設定。その後、専門員が履歴書作成をアドバイスしたり、時には面接にも同行したりする。

横浜市が他の自治体と大きく違う点は、06年22月に無料職業紹介事業の事業者として届け出をしていることだ。専門員は就労相談だけでなく、ハローワークを通さずに職業をあっせんすることができ、より(B ) 支援が可能という。

横浜市では09年度、受給者1264人の就労を専門員が支援し、約5億円分の支給削減につなげた。それでも、09年度の同市の生活保護支給額は前年度より92億円増の1026億円。

受給者の急増に支援が(C ) のが現状で、専門員が担当した受給者の就労率も、04年度に64%だったのが、09年度は54%だった。

同市中区の就労支援専門員、那須純子さん(50)は「意欲の高い人はすぐに就職できるが、就職に気持ちが踏み込めない人もいて、なかなか難しい」と頭を抱え、別の専門員の軽部真理子さん(63)も「ホワイトカラーだった人には、前職にこだわる人もいて、仕事があれば、すぐ就職という訳にはいかない」と指摘する。

市保護課は「リーマンショック以降、職種にこだわる若年層の受給者が増えて、就労支援が難しくなった面もあるが、専門員を増やすことのコスト対効果は高い。より多くの受給者支援につなげたい」としている。

(2011年2月17日読売新聞)

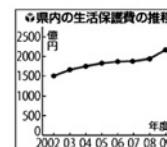


Fig. 6 Seikatsuhogohi

- (1) 文中の ( ) A~C に入ることばを \_\_\_\_\_ から選びなさい。
- A ( ) \_\_\_\_\_ 支援しなくても 支援なくしては 支援すれば
- B ( ) \_\_\_\_\_ 順調な 踏み込んだ 試算した
- C ( ) \_\_\_\_\_ 追いつかない 追われない 追い越せない
- (2) この文章のタイトルの \_\_\_\_\_ に入ることばを書きなさい。
- (3) 「 \_\_\_\_\_ 」に適切な文章を入れなさい。
- ① グラフから2009年の生活保護費は「 \_\_\_\_\_ 」ことがわかる。  
 ② このような現状に対して「 \_\_\_\_\_ 」という政策が実施される予定だ。
- (4) (3)に述べられている政策に効果があると思いますか。(60字以内)